

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
2		
○必修 学校必修 必修選択 自由選択	柴田 晶子	精選国語総合 現代文編 (筑摩書房) 常用国語便覧 (浜島書店)
	中野 靖子	T O P 2500 (いづな書店) ちくま評論入門改訂版 (筑摩書房) 現代文学名作選 (明治書院)

## ◆学習の目標

- ・読む分野 読み取り（主題・要旨）・要約・文章の構成・表現の特色・作中の人物・情景・心情の鑑賞・ものの見方・感じ方の育成をはかる。
- ・書く分野 本を読んでその感想文を書いたり、課題について収集した情報を整理して記録や報告書を作成する力を養う。  
情報を収集し活用して、報告や発表する能力を育成する。

## ◆主な学習内容・方法

- (1) 語句の確認、構成分析、主題・大意の要約、設問の解法。
- (2) 対立概念の把握、文章表現技法の特色の抽出。
- (3) 文学作品の背景を自ら調べる。
- (4) 常用漢字の学習。

## ◆到達目標と評価の観点

- 〔標準〕
- ・漢字の読み書きが正しくできるようになること。
  - ・語句の意味を正確に把握すること。
  - ・登場人物の心情を正しく読み取ること。
- 〔応用〕
- ・作品の背後にある事象や歴史、各分野との関連を理解すること。
- 〔評価の観点〕
- ・予習復習、授業中の取組み姿勢を重視する。

## ◆評価の方法

- ・年5回の定期考査のほかに、授業中の小テストや宿題テスト、質疑応答、提出物、出席状況などから、総合的に判断する。

## ◆年間予定授業時間

予定時数	70 時間	1 学期 (26 時間)	2 学期 (28 時間)	3 学期 (16 時間)
------	-------	--------------	--------------	--------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

- ・本文をよく読み、わからない語句があれば辞書で調べる。
- ・事前に配付される「予習課題」をしっかりと考えてやっておくこと。難しいといって諦めずに解答をきちんと書いておくこと。
- ・文章の構成に留意しながら、文章の大意を的確に読み取る。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	時間	学習の内容	注意すべきこと
1	4	<b>評論 1</b> 「境目」 川上弘美	4	・評論文を読んで、何を論じているかをとらえる。	<b>予習の習慣の定着</b> [評論文] ・あらかじめ読んでおき、意味の分からない語句の意味を調べる。 ・文章全体から、よく理解できなかった部分を確認しておく。 「小説」 ・小説の虚構性を理解する。 ・作家や作品の背景について理解する。 ・自己と世界を取り巻く関係について、意識的に考える態度を養い、評論する力を養う。
	5	「言葉とは何か」 内田樹	4	・論の展開に沿って、文章を読み取る力を養う。	
	6	<b>小説 1</b> 「羅生門」 芥川龍之介	8	・小説に親しみ、話の展開や主題を読み取る。	
	7	<b>評論 2</b> 「トロンボーンを吹く女子学生」 渡辺裕	5	・小説に親しみ、話の展開や主題を読み取る。	
	7	「デジタル社会」 黒崎政男	5	・評論文の構成や論の展開に注意して叙述内容をたどり、筆者の考え方を理解する。	
2	8	<b>小説 2</b> 「夢十夜」夏目漱石	10	・小説の独特な表現と味わいを理解する。	<b>自ら学び取る姿勢</b> ・夏目漱石のなかでも独特な作品に触れる。 ・文章全体の構成から段落を設定し、段落構成に従って内容を理解する。 ・自己と世界を取り巻く関係について、意識的に考える態度を養う。 ・生徒一人ひとりが自分の意見を持ち、「書く」力をつける。
	9		10		
	10	<b>評論 3・4・5</b> 「魔術化する科学技術」若林幹夫	4	・抽象的な内容の評論文の文意を適切に把握する。	
	11	「『ものさし』の恍惚と不安」 入不二基義	4	・普段見逃してしまう何気ないものごとの中にある意味を理解する。	
	12	「身体、この遠きもの」 鷺田清一 「開かれた文化」 岡真理	5 5	・言葉の働きを知り、表現の特色を理解する。 ・主題のとり方の特徴を学ぶ。	
3	1	<b>小説 2</b> 「富嶽百景」 太宰治	10	・登場人物の心理変化に留意して読み進める。	<b>問題意識をもって読む</b> ・「富士山」の寓意性の特性をつかむ。 ・詩歌に込められた作者の気持ちやその背景を理解する。 ・視野を広げ、幅広い問題意識を育てる。
	2	<b>詩歌</b> 三好達治		・主人公の背景をくみ取りながら読み進める。	
	3	石垣りん 正岡子規	6	・短歌・俳句に親しみ、詩情を味わう。 ・言葉の働きを知り、表現の特色を理解する。	